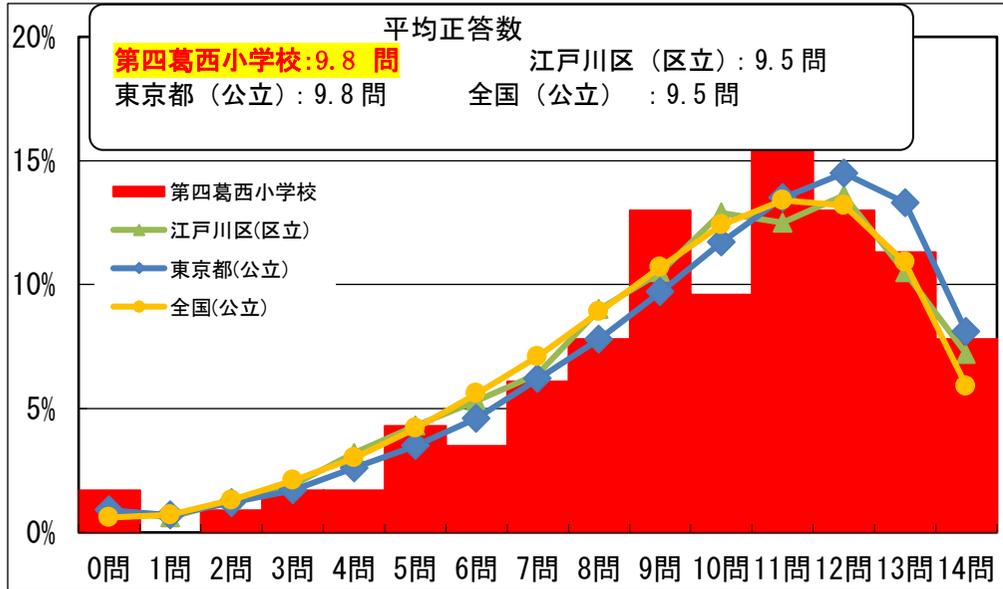


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 第四葛西小学校

正答数分布



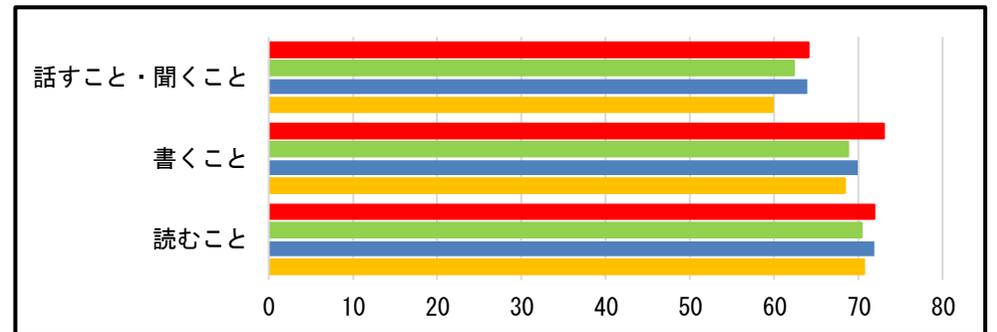
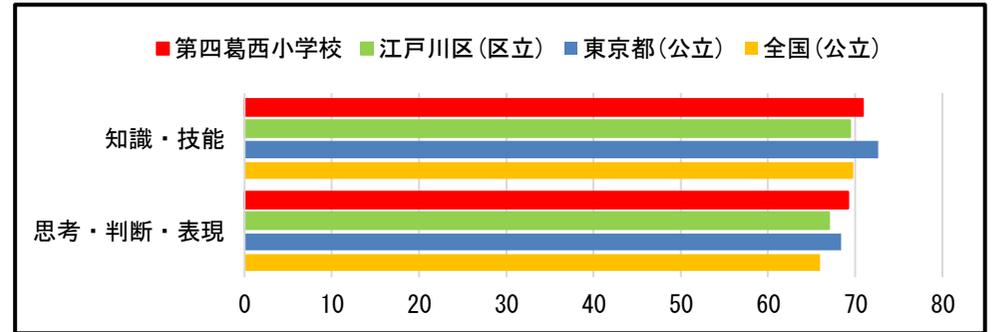
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
第四葛西小学校	32.1	27.0	20.8	19.9
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

第四葛西小学校	70%
江戸川区(区立)	70%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	0ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

本校の正答数分布は、全国、東京都、江戸川区と比較するとB層とC層の割合が高く、D層の割合が低い傾向がある。また、資質・能力の領域別に見ると、思考・判断・表現力の定着は見られるが、知識・技能の定着に課題が見られる。学習内容別では、書くことの定着は見られるが、話すこと・聞くことの定着には課題が見られる。この結果を受け、知識・技能の向上を図るため、児童の課題意識を高めた上で漢字や文法の習熟をより徹底する。また、話す力や聞く力を伸ばすため、課題解決のための話し合いを行う中で、他者の意見を取り入れながら自分の考えを深める活動を取り入れる。